



徳島県立みなと高等学園完成予想図

医療・福祉が 連携した街の 再生!!

昭和六十年の旧国鉄小松島線の廃止、港からは高速艇やフェリーの移転、そして平成十一年には旅客航路がすべて廃止されたことなどにより、中心市街地の再生に取り組み、生涯学習センター、市立図書館、保健センター・ミリカホールなど、様々な都市施設整備を中心市街地に集約し、徳島赤十字病院を核とした福祉・教育・医療・就労の一大総合支援ゾーンを形成しております。

なかでも徳島赤十字病院は、二十四時間機能する「高度救命救急センター」や小児救急医療拠点等として特殊機能を備え、市外に向けても大いに誇れる本市の魅力の一つとなっています。

平成二十年二月に開通した県道花園日開野線は、国道五十五号と徳島赤十字病院を最短距離で結ぶ命の道としてだけでなく、本市と他市を結ぶ交流の道として大きな役割を果たしています。

また、徳島県と連携して、二十一世紀めくもりとやさしさがあふれる福祉社会「みんながとくしま」の実現を目指して取り組んでいます。特に、発達障害者に対する総合的な支援拠点を整備する「ハナミズキ・プロジェクト」は、市民はもとより近隣住民から大きな期待が寄せられています。

人々の交流による 賑わい創出のまちづくり

小松島市のシンボルである狸をコンセプトに「こまつしま八八狸まつり」の開催や大正時代の面影を残す町屋を保存するなど、魅力的でにぎわいを創出するまちづくりに努めています。



The revitalization project of the city center was launched, in order to regenerate and redevelop the area after the railway and passenger ships' routes to the center were closed. Among a variety of measures, high expectations are placed on the project through the promotion of the Tokushima Red Cross Hospital, the goal of which is to improve the standards of the welfare, educational and medical services and the employment rate comprehensively. Additionally, many events such as a festival featuring a raccoon dog, a symbol of the city, are being held to attract the people in and outside of the city.

徳島赤十字病院の 活動と役割

当院は、超急性期医療を担っており、急性期疾患への迅速な対応の確かな診療、病後期間・入院期間の可能な限りの短縮、早期に社会復帰を可能とする医療提供を目指し活動しています。

またそのために、地域医療機関との連携のもとに医療を行う中核的医療機関の役割を担っています。

「高度救命救急センター」、「小児救急拠点病院」として、あらゆる世代の地域の人々へ、迅速に質の高い医療を提供できる医療機関であり、それ故、時には県内の複数の医療施設で受け入れられない対象者を最終的に受け入れる医療機関としても機能しています。

しかしこれには職員が厳しい業務環境にあることは否定できませんが、二十四時間緊急診療に対応するよう職員全員が努めています。

小松島市域のみでなく、より広い範囲の急性疾患に対応する医療機関であり、これからも医療内容、医療の質を高める努力を常に継続していく病院として、更には新しい医療へ積極的に取り組む医療施設であります。



片岡善彦さん
徳島赤十字病院 院長